

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	入江 みどり 三宅 丈治	精選現代文B (筑摩書房) ちくま評論選 (筑摩書房) 常用国語便覧 (浜島書店) 大学入試でる順漢字書き取り読み方 (旺文社)
必修 ○学校必修 必修選択 自由選択		

◆学習の目標

- ・近代以降のさまざまな文章を読む能力を増進する。
- ・さまざまな文章を読解することにより、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
- ・自主的な読書活動やその感想・意見を表現することによって、人生を豊かにする態度を育てる。

◆主な学習内容・方法

- (1) 論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。
- (2) 文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。
- (3) さまざまな文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりして、それを自分の言葉で表現し、記述していく。
- (4) 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞など表現上の特色をとらえ、それらを自分の表現、記述方法に生かしていく。

◆到達目標と評価の観点

- [標準] ・文章の構成をとらえ、論理の展開や要旨を的確にとらえる。
- ・人物、情景、心情などを的確に読み取る。
 - ・文体や修辞など表現上の特色を的確に理解する。
 - ・現代文の重要語（語句や用法）を的確に理解する。
- [応用] ・文章から得た知識や思想や感動などを通し、自分の生き方について考えそれを記述する。
- ・自分の見解を記述できる表現力を身につける。
- [評価の観点]
- ・予習復習、授業中の取組み姿勢を重視する。

◆評価の方法

- ・年4回の定期考査のほかに、授業中の確認テスト、質疑応答、提出物、出席状況などから、総合的に判断する。

◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	1 学期 (26 時間)	2 学期 (28 時間)	3 学期 (16 時間)
------	-------	--------------	--------------	--------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

予習①教科書を丁寧に読む。②わからない語句などは脚注や辞書で調べておく。③内容の把握、要旨、主題の確認を柱に、学習の要点をあらかじめ自分で考える。⑤**授業**に集中し、理解を深め、疑問点を解決する。⑥そのつど必要に応じて**復習**する。⑦必ず教科書・ノート・確認テスト・副教材等を読み直して確認し、定期考査をまじめに受験する。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	時間	学習の内容	注意すべきこと
1	4	評論1 「絵画と二十世紀」	4 4	・評論を読んで、筆者の主張を的確に押さえ、文章全体をとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・予習を定着し、あらかじめ読み、重要語句の意味を調べる。 ・丁寧な読解や解釈を通して、社会問題を地球的な規模でとらえる。 ・明治時代を背景にした作品人物の印象を通して、人間の生き方や考え方についての理解を深める。 ・表現の発想、構成、言葉遣いなどを理解する。
	5	前田英樹 「虚ろなまなざし」	10	・中東の現実にも目を向け、広い視野を持つことの大切さを確認する。	
	6	岡 真理 小説1 「舞姫」		4	
	7	評論2 「つながりと秩序」 北田暁大	4	・大学過去入試問題の演習を行い、実際の入試で有効な問題解答力をつける。	
大学入試問題演習					
2	8	評論3 「陰翳礼讃」	6	・筆者の芸術に対する問題意識を明らかにすることで、日本文化についての関心を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・著者の主張する「方法としての異世界」の意義と必要性を理解し、現代社会の問題点について考える。 ・評論同士の繋がりを意識し、自分の中で構造化する力をつける。 ・生命倫理について学び自己を深く見つめる契機とさせる。 ・筆者の主張が空疎な仮定ではないことに気づかせる。 ・文章全体を把握する「読解力」と主題や主旨をまとめる「記述力（表現力）」をつける。
	9	谷崎潤一郎 「無情ということ」	6		
	10	小林秀雄		・大きな時の流れをどのようにとらえたらいいか考える。	
	11	評論4 「死と向き合う」 清水哲朗	6	・死も生の一つであるとする筆者の主張を丁寧にたどる。	
	12	「貨幣共同体」 岩井克人	6	・社会を別方向から見つめ、認識の深めることの大事さを学習する。	
大学入試過去問題演習			4	・大学過去入試問題の演習を行い、実際の入試で有効な問題解答力をつける。	
3	1	大学入試過去問題演習	16	・大学入試過去問題の演習を行い、実際の入試で有効な問題解答力を高める。	・評論を読解し、論理の展開や要旨を的確に把握する力をつける。
	2				
	3				